

## オナガ



### カラス科



- 見つけやすさ：★★
- 見られる時期：1年中

せなかやおが水色のとてもきれいな鳥です。群れでくらしています。カラスの仲間なので、声は「グーイ、グエイグエイ」とさわがしく聞こえます。

- ◆ 大きさ：ハトくらい

## ワカケホンセイインコ



### インコ科



- 見つけやすさ：★
- 見られる時期：1年中

赤いくちばしと、全身の黄緑色がきれいな鳥です。オスの首のまわりにある黒とピンク色の輪から名前がつけました。元々はインドやネパールにいる外来種です。

- ◆ 大きさ：ハトより少し大きい

## カルガモ



### カモ科



- 見つけやすさ：★★
- 見られる時期：1年中

くちばしの先の黄色や、オレンジ色の足が特徴です。オスとメスはほとんど同じ色をしています。水の中の水草や昆虫などの小さな動物を食べます。

- ◆ くちばしから尾まで：60.5cm

### コラム④

## 生きものとのつきあい方

じょうけんつきとくていがいらいせいぶつ  
～条件付特定外来生物について～

### 条件付特定外来生物について

2023年6月にアメリカザリガニとミシシッピアカミミガメ(通称「ミドリガメ」)が条件付特定外来生物に指定されました。

アメリカザリガニもミシシッピアカミミガメも、

人によって外国から日本に持ち込まれました。外来生物のなかでも、生態系、人の健康、農林水産業への被害を及ぼすなど、とくに注意が必要なものは、「特定外来生物」として飼育や運搬が禁止されています。条件付特定外来生物は、飼育することはできますが、放流や購入は特定外来生物と同じように禁止されています。

### 豊島区では

アメリカザリガニとミシシッピアカミミガメは、豊島区の池にも生息しています。アメリカザリガニは繁殖力が強く、魚や水草、両生類など何でも食べる雑食性のため、水の中の生きものを減らしてしまいます。ミシシッピアカミミガメも雑食性で、水の中の生きものに影響を及ぼすほか、他の日本のカメ類の食べものや生息地をうばってしまいます。これらは、ペットとして飼われていたものが逃がされ、野生化した個体だと考えられます。水の中の生きものを食べつくし、豊島区にもともといた生きものに大きな影響を与えるようになりました。

たくさんの生きものがこれからも豊島区にすめるよう、今、ペットとして飼っている場合は、最後まで責任をもってお世話をしましょう。



アメリカザリガニ



ミシシッピアカミミガメ

### 【参考】

環境省「日本の外来種対策」  
「2023年6月1日よりアカミミガメ・アメリカザリガニの規制が始まりました!」  
<https://www.env.go.jp/nature/intro/2outline/regulation/jokentsuki.html>  
(2025/9/30 参照)



## ソメイヨシノ



バラ科



● 見つけやすさ：★★★★

● 花の時期：3～4月

そめいむら (今こまごめの駒込3～7丁目) で、エドヒガンとオオシマザクラというサクラをかけあわせて作られたといわれています。豊島区発祥の「区の木」として親しまれています。

◆ 花の直径：およそ4cm

## ツツジの仲間



オオムラサキ

サツキ

ツツジ科



● 見つけやすさ：★★★★

● 花の時期：4～6月

4～5月に咲く花の大きなオオムラサキ、5～6月に咲くサツキが公園などに植えられています。ツツジは「区の花」として親しまれています。

◆ 花の直径：オオムラサキ 6～8cm  
サツキ 3.5～5cm

## ツバキの仲間



ヤブツバキ

サザンカ

ツバキ科



● 見つけやすさ：★★★★

● 花の時期：ヤブツバキ 2～4月  
サザンカ 10～12月

サザンカは花びらが散ってしましますが、ヤブツバキは形を保ったまま下に落ちます。

◆ 花の直径：ヤブツバキ 5～7cm  
サザンカ 5～8cm

## スダジイ



ブナ科



● 見つけやすさ：★

● 実がなる時期：10～11月

常緑の木で、学習院に昔からある林の残っています。ドングリのぼうしは実ると割れて、ドングリが顔を出します。あくを抜かずにそのまま炒って、食べられます。

◆ ドングリの長さ：1.2～2cm

## コナラ



ブナ科



● 見つけやすさ：★

● 実がなる時期：10～11月

冬に葉が散る落葉樹です。昔、燃料にするたぎや炭を作るのに使われた木です。秋にうろこもようのぼうしのドングリになります。渋くて食べられません。

◆ ドングリの長さ：1.6～2.2cm

## シラカシ



ブナ科



● 見つけやすさ：★★★

● 実がなる時期：10～11月

関東地方では最も身近なカシの仲間です。校庭や公園などによく植えられます。秋になると縞模様のぼうしがついた、小粒のドングリになります。

◆ ドングリの長さ：1.5～1.8cm

## イチョウ



## イチョウ科



- 見つけやすさ：★★★
- 紅葉の時期：11～12月

中国原産の木で葉の形がカモの足に似ているとも言われています。オスとメスの木があり、メスの木になるギンナンは食用としても人気です。

- ◆ 葉の幅：5～7cm

## イロハモミジ



## モミジ科



- 見つけやすさ：★★★
- 紅葉の時期：11～12月

手のひらのような形で指のような部分は5～9個になります。7個になることが多く、「いろはにほへと」と数えることが、名前の由来です。秋には美しく紅葉します。

- ◆ 葉の直径：4～7cm

## ケヤキ



## ニレ科



- 見つけやすさ：★★
- 紅葉の時期：10～11月

街路樹として植えられる落葉樹です。昔は屋敷の周りに植えました。劇場通りや鬼子母神の参道にケヤキ並木があります。葉は秋に黄色や赤に色づきます。

- ◆ 葉の長さ：3～7cm

## ナズナ



## アブラナ科



- 見つけやすさ：★★
- 花の時期：3～6月

春の七草のひとつで、七草がゆに入れて食べます。三味線のバチのような形の実が付くので、ペンペン草ともいわれます。ペンペンとは三味線の音のことです。

- ◆ 花の直径：0.3cm

## セイヨウタンポポ



## キク科



- 見つけやすさ：★★★
- 見られる時期：3～9月

ヨーロッパ原産の外国の植物です。区内では日本産のカントウタンポポはほとんど見られなくなりました。種には綿毛が付いていて、風に乗って遠くまで運ばれます。

- ◆ 花の直径：3.5～5cm

## ハルジオン



## キク科

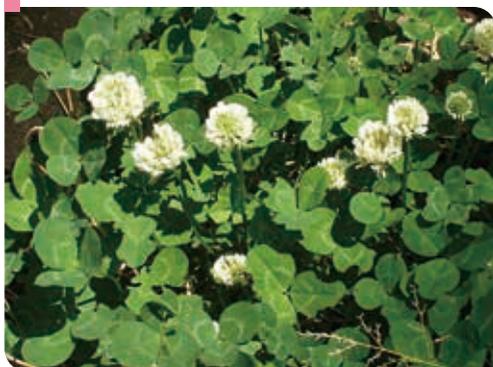


- 見つけやすさ：★★★
- 花の時期：4～5月

北アメリカ原産の外国の植物です。つぼみは垂れ下がっていますが、花が開く時は上を向きます。よく似たヒメジョオンはハルジオンの花が終わった頃に咲き始めます。

- ◆ 花の直径：1.5～2.5cm

## シロツメクサ



マメ科



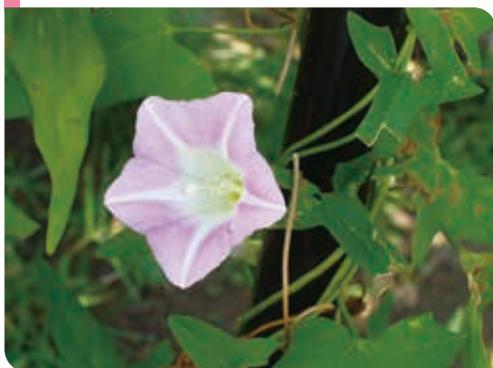
● 見つけやすさ：★★★

● 花の時期：5～8月

江戸時代にガラスの器が割れないように詰められてオランダから送られてきました。白い花が咲くので白詰草と呼ばれるようになりました。ヨーロッパ原産で、別名クローバー。

◆ 花の直径：およそ1cm

## コヒルガオ



ヒルガオ科



● 見つけやすさ：★★

● 花の時期：6～8月

うすピンクのアサガオのような花を咲かせます。よく似たヒルガオより小さく、昼間に咲くので小昼顔です。つる植物で日当たりのよいところにはえます。

◆ 花の直径：3～4cm

## ツククサ



ツククサ科



● 見つけやすさ：★★

● 花の時期：6～9月

道端や草地で青い花を咲かせます。朝に咲き昼にはしぼむ一日花です。花びらの色が水によく溶けるため、色水遊びを楽しめます。

◆ 花の直径：1.5～2cm

## カラスウリの仲間



ウリ科



● 見つけやすさ：★

● 実のなる時期：9～11月

夜にレースのような花びらの花が咲きます。カラスウリは赤、キカラスウリは黄色い実がなります。キカラスウリは冬まで実が残ります。

◆ 実の長さ：カラスウリ5～7cm  
キカラスウリおよそ10cm

## エノコログサ



イネ科



● 見つけやすさ：★★

● 実がなる時期：7～11月

犬の尾のような穂から犬ころ草が転じてエノコログサになりました。この穂をふってネコと遊べるのでネコジャラシとも呼ばれます。

◆ 穂の長さ：3～6cm

## ススキ



イネ科



● 見つけやすさ：★

● 花の時期：8～10月

秋の七草のひとつです。昔はたくさんはえていて、鬼子母神の「すすきみみずく」という民芸品にも使われました。今は線路ざわや霊園などに少しはえています。

◆ 穂の長さ：15～30cm

## アダンソンハエトリ



ハエトリグモ科



- 見つけやすさ：★★
  - 見られる時期：6～10月
- あみは 網を張らないクモの仲間です。家のまわりの草地などを歩き回り、食べものとなる小さな昆虫を探します。ときには家の中にもいることもある、身近な種です。

◆ 頭から腹部の先まで 0.6～0.9cm

## アブラコウモリ



ヒナコウモリ科



- 見つけやすさ：★
  - 見られる時期：4～10月
- まちの中で飛んでいるのは、このコウモリです。昼間は家のすきまなどにかくれていて、夜になると、超音波を使って昆虫をつかまえます。冬は冬眠をします。

◆ 大きさ：鼻からお尻まで 4～6cm

## ニホンヤモリ



ヤモリ科



- 見つけやすさ：★★
  - 見られる時期：4～11月
- ひらたい体で家のすき間などにかくれていて、夜になると活動します。灯りに集まってくるガなどの昆虫を食べます。周りの色の明るさによって、体の色も変わります。

◆ 大きさ：口先から尾まで 14cm

## ヒガシニホントカゲ



トカゲ科



- 見つけやすさ：★
- 見られる時期：4～10月

ツルツルとしてメタリックなうろこが特徴です。幼体の時期は黄色から青色のグラデーションが目立ちますが、成熟すると全体的に薄茶色になります。

◆ 大きさ：口先から尾の先まで 20cm

## ニホンカナヘビ



カナヘビ科



- 見つけやすさ：★
- 見られる時期：4～10月

草むらなどにすんでいるトカゲの仲間です。昆虫やクモなどを食べます。敵におそわれると、尾を切ってにげることができ、そのあとで尾はまたはえてきます。

◆ 大きさ：口先から尾の先まで 27cm

## アズマヒキガエル



ヒキガエル科



- 見つけやすさ：★★
- 見られる時期：2～11月

夜に活動し、敵におそわれると、耳のうしろなどから白い毒液を出します。春に、池などで卵をうみますが、卵はひものような形のゼリーの中に入っています。

◆ 大きさ：口先からお尻まで 16cm

# くやくしょ とりくみ 区役所の取組

せいぶつたようせい まも  
区役所では、生物多様性を守るために、いろいろな取組を行っています。

## 「グリーンとしま」再生プロジェクト



りょくかかつどう  
豊島区を緑いっぱいにする取組として緑化活動を続けています。

## 「豊島の森」環境講座



## みらい館大明「いのちの森」自然観察会



豊島区役所本庁舎10階の「豊島の森」やみらい館大明「いのちの森」で植物や生きものを学ぶ講座や自然観察を行っています。

## プールにいるヤゴ等の生きもの学習



学校のプールで生まれたトンボの幼虫(ヤゴ)などを題材に、都会の中の自然と生きものについての授業を行っています。

## としま生きものさがし(区民参加型生きもの調査)



「としま生きものさがし」は、区民のみなさんに身近な生きものを調べて報告してもらう取組です。身近な生きものに関心を持ってもらうことで、生物多様性を感じるきっかけとしています。

本事業は2015年からスタートし、2025年で11年目を迎えました。これまでにお寄せいただいた報告の中から、多く見つかった生きものをランキングで紹介します。

次の10年ではどんな生きものが見つかるでしょうか?これからもとしまの生きものにぜひ注目してください。

### としま生きものさがし

### ランキング

※()内は、2015~2024年度の延べ報告件数。



#### ナミアゲハ (803 件)

区内で一番身近な昆虫といえそうです。幼虫が食べるミカンの葉や、チョウが吸う花のみつが区内に多いことが分かります。



#### モンシロチョウ (632 件)

幼虫は菜の花やキャベツなど、アブラナ科の葉を食べます。畑や花壇といった、人の暮らしのそばで見られるチョウです。



#### アブラゼミ (584 件)

ゼミの仲間の代表です。近年、西日本に多いクマゼミが関東でも増えてきているため、今後の推移に注目です。



#### ミンミンゼミ (507 件)

アブラゼミより報告が多い年もありました。鳴き声の特徴的なため、よく見つかるようです。



#### シオカラトンボ (482 件)

開けた環境であれば、公園や学校などの人工の水辺にもやってきます。区内でよく親しまれているトンボです。



### いきものログ 生物情報収集・提供システム <https://ikilog.biodic.go.jp>

QR  
コードは  
こちら



いきものログとは生きもの情報を集積して、みんなで共有して提供するシステムです。「としま生きものさがし」や動植物調査で見つかった生きものも「生きものログ」に登録しています。ぜひ活用してみてください。

お問い合わせ：いきものログ運営事務局  
E-mail : ikilog\_info@env.go.jp  
TEL : 0555-72-8018  
受付：平日 10:00 ~ 17:00  
(土日、祝日、年末年始の12月29日~1月3日を除く)